



2023年7月31日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社
代 表 者 名 社 長 岸本 暁
コ ー ド 番 号 5214 東証プライム
問 合 せ 先 取締役常務執行役員 森井 守
TEL 077 (537) 1700

特別損失の計上及び第2四半期連結累計期間の業績予想値と決算値の差異 並びに2023年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2023年12月期第2四半期に特別損失を計上したこと等から、2023年4月28日に公表した2023年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じました。あわせて、2023年2月3日に公表した2023年12月期通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は、2023年5月29日に公表したディスプレイ事業の構造改革に関して、韓国拠点の整理に伴って発生する175億円の事業構造改善費用を、特別損失として2023年12月期第2四半期に計上しました。

2. 2023年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と決算値の差異 (2023年1月1日～6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 140,000	百万円 △4,000	百万円 △3,000	百万円 0	円 銭 0.00
実績値 (B)	139,178	△5,742	△3,066	△15,711	△168.85
増減額 (B-A)	△822	△1,742	△66	△15,711	—
増減率 (%)	△0.6	—	—	—	—
(ご参考) 前第2四半期連結累計期間 実績(2022年12月期)	172,771	19,157	29,734	24,417	262.46

(理 由)

売上高は、概ね前回予想どおりに推移しました。営業利益は、主として薄型パネルディスプレイ (FPD) 用ガラスの需要回復を見据えた設備の再稼働コスト等が発生したことにより、前回予想を下回りました。経常利益は、海外子会社の借入に係る債権債務の評価替えによる為替差益等を営業外収益に計上したことにより概ね前回予想通りに推移しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別修繕引当金戻入額を特別利益に計上した一方、前項の特別損失を計上したこと等から、前回予想を大きく下回りました。

3. 2023年12月期通期連結業績予想の修正
(2023年1月1日～12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 340,000	百万円 10,000	百万円 10,000	百万円 8,000	円 銭 85.98
今回修正予想 (B)	290,000	△5,000	△5,000	△20,000	△214.93
増減額 (B - A)	△50,000	△15,000	△15,000	△28,000	—
増減率 (%)	△14.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	324,634	26,184	34,058	28,167	302.76

(理 由)

下期については、FPD用ガラスは、ディスプレイ市場の回復を背景に好調な出荷を見込む一方で、ガラスファイバの需要回復はなお時間を要する見込みです。

損益面では、原燃料価格が当初想定を下回るものの依然として高い水準にあることや、ガラスファイバの需要回復の遅れに伴う稼働率低下等による原価高が利益を押し下げる見通しです。引き続き費用削減、生産性改善を継続するとともに、製品価格の改定を進めることで収益の改善に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績及び以上の見通しを踏まえ、2023年12月期通期連結業績予想を上表のとおり修正いたします。

なお、2023年12月期年間配当予想（1株当たり120円）については変更ありません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれらの予想値とは異なる可能性があります。

以 上